

# ヴェーダ

## V E D A

地域の皆さん向けの広報誌

### 基本理念

- ・信頼される病院
- ・ころあたたまる病院
- ・地域に開かれた病院
- ・常に向上心をもって働く病院

### 基本方針

- ・患者中心の医療と権利の尊重
- ・高度・特殊医療、救急医療、へき地医療等の充実
- ・地域の医療、保健、福祉との連携推進
- ・患者サービスの向上と安心感の確保

## ホスピタルプランを終えて



完成した増改築工事部分



改修前



平成13年8月に「小松市民病院ホスピタルプラン懇話会」を立ち上げ、市民の方々の意見を取り入れながら、市民病院のあり方を検討してから、約7年、平成20年8月31日に小松市民病院増改築工事が完成しました。

平成17年11月から工事を始め平成18年12月に完成した南館では、放射線治療装置、血管撮影装置、CT装置を導入してがん医療や高度医療の充実に取り組んでいます。その他に精神科外来とデイケアセンターを併設させたことにより精神医療の充実が図られています。また、4階の研修室も広くなり、多くの研修会を開催して医療水準の向上に取り組んでいます。

南館の完成後の平成19年1月から着工した既存棟改修工事では、病室の改修による個室の増室、大部屋を6人から4人に改善する等の療養改善を図りました。また、1階入り口を改修し明るくしたほか、大きな看板の設置、カウンターの改修等、患者さんにとって快適な環境になるように整備しました。

また、「小松市ホスピタルプラン」策定後の7年間に、目まぐるしく医療制度が変化しました。当院においても、特定健診の開始、がん診療連携拠点病院の指定等、その都度迅速に対応しており、工事においても、当初は予定していなかった、健診センターや、緩和ケア病棟の整備、また、医療安全相談室、がん相談支援センター等の相談機能も充実を図りました。

増改築工事により、ハード面は随分と充実したと考えています。これからは、ソフト面において、市民の医療ニーズに対応できるように検討していかなければならないと考えています。

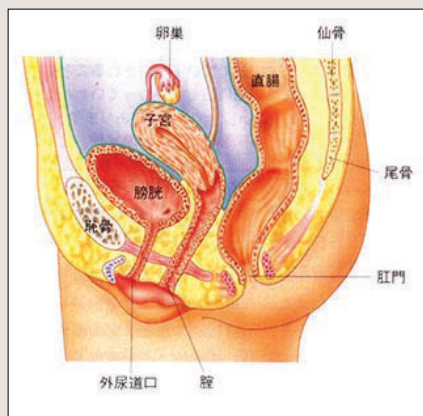
総務省は今年度内に全国の自治体病院に「公立病院改革プラン」の策定を求めています。当院においても、当院が果たすべき役割を明確にして、経営の効率化や経営形態について第三者の経営分析や意見を十分に取入れたプランを策定します。その中で、地域の医療を継続的に提供していくために当院に求められることをきちんと見極めて、皆さんに適切な医療を提供できるように病院機能の充実を図っていききたいと思います。



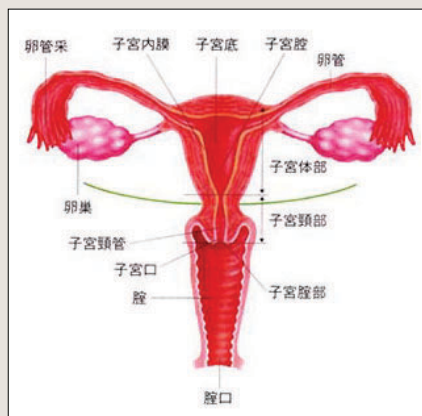
# 子宮がんについて

## 子宮癌とは

子宮は図1のように、膣の一番奥にその入り口（子宮口）があり、2-3cmの細長い部分（子宮頸部）と5-6cmの丸い部分（子宮体部）に分けられます。前側には膀胱、後側には直腸が接しています。子宮癌は子宮に発生する悪性腫瘍ですが、それには2つの種類があります。図2のように子宮の入り口の部分である子宮頸部にできる**子宮頸癌**と、子宮の奥の部分である子宮体部にできる**子宮体癌**です。子宮にできるこの2つのがんは、原因も性格も全く異なったものです。20年くらい前までは、子宮頸癌が圧倒的に多く、子宮癌の90%以上を占めていましたが、最近では子宮体癌が増えてきて、全体の30-40%になりました。死亡率は年々下がってきましたが、近年は横ばいでした。しかし現在は子宮頸癌検診の対象年齢がさらに引き下げられたことにより、死亡率のさらなる低下が期待されています。



【図1】子宮の位置



【図2】子宮がんのできる場所

## 子宮癌の疫学

子宮癌は図3に示すように性交渉、妊娠・分娩に関連が深いといわれておりますが、**子宮頸癌の原因**と考えられている**ヒトパピローマウイルス**は、30才未満の女性の15-20%程度に感染しているといわれ、50-80%の女性は生涯に一度は感染することがあるともいわれています。そのため子宮頸癌は、ごくありふれたウイルスが引き起こす、ごく稀な合併症ともいえると思います。

**子宮体癌の原因**は、**卵巣ホルモンのバランスのくずれ**によって引き起こされるといわれています。日本人女性の平均閉経年齢は約50歳ですが、これまで子宮体癌は閉経後に発生する癌といわれていました。しかし日本人全体の生活様式が欧米化してきた現在では、女性の社会的地位が向上したために精神的、肉体的ストレスが増加し、結果として卵巣機能が抑えられる状況が多くなることに加え、食生活においても動物性脂肪の摂取が増加することで、体内の脂肪組織に蓄積されたり、合成されるエストロゲン量が相対的に増えることによって子宮体癌の発生要因が著しく増加してきています。そのために近年日本において子宮体癌が増加、特に若年者の子宮体癌が増加したといっても過言ではないでしょう。

## 子宮癌の症状

現在のように、集団検診や人間ドックが普及し、スクリーニング検査を受ける人が多くなると、子宮癌は**殆どの場合全く無症状**のうちに発見されます。すなわち前癌病変や初期の癌においては症状を現さないのが特徴です。何らかの症状を訴えて病院を受診される方の場合、その多くは不正性器出血が占めます。子宮頸癌では**接触出血（性交渉後の出血）**、子宮体癌では**閉経後出血**が特徴的です。癌が進行することによって、おりものが増え、水様性、粘液性、血性（褐色）の帯下があるといった訴えや、悪臭を放つなどの症状が現れます。

## 当院での子宮癌の治療

### ① 初期子宮癌の治療

最近では若い人にも子宮癌が発見されることが増えてきていますが、手術によって子宮を摘出してしまってももちろん妊娠、出産ができなくなってしまいます。現在は初期の子宮癌は、子宮を摘出することなく、**子宮頸癌**ではその病変の部位のみを切除する治療法（**子宮腔部円錐切除術…日帰りか一泊でも行っています…**）や、**子宮体癌**では程度により**子宮内膜掻爬術**と**ホルモン剤**による治療法も選択されるようになってきています。

### ② 進行子宮癌の治療

進行子宮癌では、**根治手術**（子宮及び両側卵巣を摘出し、骨盤内の所属リンパ節を郭清）か、**放射線治療、化学療法**（またはその両者の併用療法）が選択されます。手術の後には、必要によっては再発を抑える目的で、放射線もしくは化学療法を追加します（…外来でも行っています、**外来化学療法・外来放射線治療**）。子宮頸癌では扁平上皮癌が多いため、放射線に対する感受性が良好な場合には、放射線治療のみで完治することもあります。しかしながら根治手術、放射線治療、化学療法のいずれにしても、体に及ぼす影響はかなり大きく、健康被害を伴うこともあります。現在、様々な副作用対策を思考・実践していますが、癌は克服したものの、終生その副障害（下肢リンパ浮腫、末梢神経障害、放射線性腸炎・膀胱炎等）に苦しんでしまうといったケースもあります。

子宮頸がん		子宮体がん	
30~40歳代	年齢	50~60歳代	
低年齢から性交渉があり、性交相手が多い	性交渉	ほとんど関係がない	
30~40歳代	年齢	未婚、晩婚	
回数が多い	妊娠・出産	回数が少ない 初産年齢が高い	
	生理	不順気味 閉経している	
	家族歴	三親等以内に体がんにかかったことのある人がいる	
ヒトパピローマウイルスに感染している	その他	肥満、高血圧、糖尿病、ホルモン異常がある	

【図3】発症の傾向





## 病院探検 チーム医療 その1 NST委員会の活動

### NSTとは

「栄養管理を症例個々や各疾患治療に応じて適切に実施することを **Nutrition Support** (栄養サポート) といい、この栄養サポートを医師、看護師、薬剤師、栄養管理士、臨床検査技師などの多職種で実践する集団(チーム)のことを NST (**Nutrition Support Team**: 栄養サポートチーム)と定義されています。

この概念は、1970年代初頭、中心静脈栄養法(TPN)の適応判定と適正実施を目的として米国のボストンで誕生し、TPNの普及とともに世界中に伝播しました。そしてアメリカでは ASPEN (アスペン)、ヨーロッパでは ESPEN (エスペン)、アジアでは PENSA (ペンサ)が、中心となってこのNST活動が行われております。

日本では、2001年2月より、日本静脈経腸栄養学会(JSPEN :ジャスペン)の指導でNSTの設立を支援する『NSTプロジェクト』が展開されました。

小松市民病院でも2005年度よりNST委員会が設立され

- ① 2005年10月1日には日本静脈経腸栄養学会認定NST稼働施設を取得
  - ② 2006年9月1日には日本栄養療法推進協会認定「NST稼働施設」の第1回暫定認定施設を取得
  - ③ 2008年2月26日には日本静脈経腸栄養学会認定教育施設を取得
- 現在23名のスタッフで活動中です。

### もし栄養不足が続くと

- ・病気にかかりやすくなったり、2つ以上の病気になりやすい。
- ・手術や外傷・褥瘡(床ずれ)などの創傷治癒に悪影響をもたらします。
- ・手術後の合併症の増加や入院期間が長期化してしまいます。
- ・免疫力低下による感染症の増加・悪化が起こります。
- ・筋力低下による日常生活の質の低下(歩行困難・嚥下障害・誤嚥性肺炎など惹起)がみられます。

### NSTの主な役割は以下の通りです。

1. 栄養管理が必要か否かを判定する栄養評価
2. 適切な栄養管理がされているかをチェック
3. 最もふさわしい栄養管理法を指導・提言
4. 栄養管理を伴う合併症の予防・早期発見・治療
5. 栄養管理上の疑問に答える
6. 早期退院や社会復帰を助ける
7. 新しい知識の習得・志気の向上



### NSTの活動内容

各病棟には、それぞれ1名のリンクナース(NST委員)が配置されており、栄養状態の悪い患者(栄養アセスメントシートで抽出)には、主治医の同意のもとNSTが介入する事となっています。この栄養サポートチーム(NST)は、週一回(病棟により日時は別)ミーティングを開き、問題症例の回診や検討を行っています。

食欲がない、あるいは経口摂取不良で栄養状態に不安を感じていらっしゃる(がん治療の人を含む)患者さん及びご家族の方で、疑問な点や相談したい事がありましたら、(簡単な栄養評価の希望だけでもいいです)気軽に担当看護師を通じてお声をかけて頂きたいと思っております。

## topics 第5回 南加賀地区地域医療連携講演会・情報交換会 トピックス 「今、具現化する神話 -肝移植・再生医療の歩み-」



小松市民病院主催の南加賀地区地域医療連携講演会は、7月17日(土)、市内のホテルサニール小松で開催され、南加賀地区の医療・福祉機関の医師・看護師・職員、歯科医師、調剤薬局薬剤師、訪問看護師、看護学校職員・学生、当院の職員ら132名が参加しました。

講師の札幌北病院外科顧問、旭川医科大学名誉教授である水戸 勉郎先生は、肝移植・再生医療の先駆者であり、講演の中でも最新・最良の医療を求めてたゆまない努力をされた情熱がひしひしと伝わり、参加者からも「とても良かった」の声が聞かれました。

この後行われた情報交換会では、水戸先生を囲んで和やかに談笑する姿が見受けられました。

## topics トピックス

### ふれあい看護体験を受け入れて

小松市民病院では看護職の魅力や看護の仕事内容を広く一般にPRして、看護の心を普及啓発するため、5月12日の「看護の日」に合わせて毎年「看護週間」を開催しています。その一環として、石川県看護協会の呼び掛けで「ふれあい看護体験」を実施しています。今年度は5月13日火曜日に希望のありました高校生2名の「ふれあい看護体験」を受け入れました。

参加した2名は川浦院長から辞令を受けた後、患者さんとのふれあいを通して看護の雰囲気に触れました。受け入れた2つの病棟では看護師体験担当の指導者が中心となり、基本的な看護技術(患者さんの足浴やシャワー浴)や処置を通してのコミュニケーション、また血圧測定などを体験してもらい、患者さんと交流を深めました。

看護の道を目指して、参加した高校生からは「看護の道は大変だけどやりがいのある仕事だと思います。私もそのやりがいのある仕事に就き、今日会った素晴らしい看護師さんのようにがんばりたい」「笑顔が大切だと看護体験を通して学びました」「シャワー浴を通して患者さんに喜んでいただけ『ありがとう』と感謝されて、うれしかった」などの感想が聞かれました。

将来、看護師を目指す高校生にとって夢の第一歩になったようでした。今回の「ふれあい看護体験」を通し、看護師の仕事に興味を持ち、一人でも多くの高校生が看護の道に携わるきっかけになればと指導した看護師も励みと元気を得ることができました。



患者さんの足浴やシャワー浴の援助を看護師と行っていました。患者さんから「気持ちよかった。ありがとう」と感謝されました。

### こまつ看護学校・小松市立高等学校による

## 緩和ケアパンフレット

緩和ケアについて、多くの方に知っていただきたいとの考えから緩和ケアパンフレットを作成しました。内容はわかりやすく、柔らかいものになるようにこまつ看護学校の生徒に、挿絵は小松市立高校の芸術コースの学生に依頼し、最終的に小松市民病院で監修を行いました。

各学校の協力により、かわいいパンフレットが9種類完成しました。パンフレットは、がん相談支援センターの前に置いてありますので、ぜひ手にとって見ていただきたいと思っております。



## ボランティア 感謝状

小松市民病院では、永年ボランティア活動をしている8つのグループに対して、日頃の活動に敬意を表して感謝状を授与しました。今後も、地域に開かれた病院を目指して積極的にボランティア活動の受け入れを行ってまいります。





## おねしょを治そう！

—小松市民病院では夜尿症の診療をおこなっています—

一般に昼間の排尿は3才すぎ、夜間の排尿は4才すぎに自立しますが、5・6才を過ぎても月に数回以上おねしょする場合は、小学校に入っても週に1回以上おねしょする場合は夜尿症といいます。

そのほとんどは8才までにはなおりますが、就学後もつづく場合はこどもや家族の悩みがとても深刻なことがあります。夜尿症の治療にはさまざまなものがありますが、たとえ完全にならなくても夜尿の原因やこれからの見通し、外泊時の対処法など夜尿に関する不安にお答えすることでも、本人と家族のストレスは大きく軽減されます。

受診は電話で予約してもらえればいつでもできます。とくべつな検査もほとんど必要ありません。ただし、昼間の遺尿や尿失禁、尿もれなどをともなうときは血液検査や泌尿器科的な検査が必要になることがあります。

夜尿症の治療は、夜尿の状態におうじて点鼻薬やアラーム療法といわれるものがおもに用いられます。ただしく使用すれば副作用の心配もありませんので、お気軽にご相談ください。

受付窓口 小松市民病院 小児科外来  
電話 0761-22-7111(代)

小児科Q&AときどきA&Qは  
今回はお休みです



## topics

トピックス

## 緩和医療懇話会の開催

南加賀地区の医師、薬剤師、訪問看護師等を対象とした、緩和ケアについての懇話会を開催しました。今回の目的は緩和ケアについての概略について、皆様にご存知いただくことであり、当院の村上外科担当部長、石田薬剤師の説明後、小松市医師会副会長見谷先生、てまり薬局橋本先生、訪問看護ステーション小松所長保賀先生を交えてパネルディスカッションを行いました。会場からも多くの質問や意見があり、その意見の中に各業種を交えて医療連携を行うことが重要であり、懇話会の継続が必要との認識から、今後引き続き懇話会を開催していくことと致しました。



## 編・集・後・記

最近「ゲリラ豪雨」と呼ばれる局地的集中豪雨が発生して、各地に大きな被害を及ぼしています。原因のひとつとして地球温暖化が挙げられているが、どこで起こるかを予想することが難しいため、対応に苦慮するケースも見られています。医療の現場において、想像し難いケースが発生した場合でも、適切に対処出来るように、日頃からあらゆる準備を整えておきたいと思えます。



国民健康保険 小松市民病院

〒923-8560 石川県小松市向本折町ホ60  
TEL(0761)22-7111(代) FAX(0761)21-7155  
URL <http://www.hosp.komatsu.ishikawa.jp/>  
E-mail [cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp](mailto:cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp)